

マハゼの棲み処調査へのご協力をお願い

東京湾全域でのマハゼの棲み処(すみか)調査をします。マハゼの大きさを測ることで、その成長、移動の様子を明らかにして、東京湾の環境を診断し、再生に向けた取り組みを検討するための調査です。

本調査は、東京湾再生推進会議の東京湾環境一斉調査に登録されています。また、東京湾再生官民連携フォーラムモニタリング推進プロジェクトチームの活動でもあります(<http://www.tbsaisei.com/>)。

マハゼ(真鯊、真沙魚)の特徴



灰色っぽい赤茶色の背に黒いてんが並ぶ
冬に湾内・深場で生まれ、春に汽水域をさかのぼり、夏・秋に運河・河口域に降る

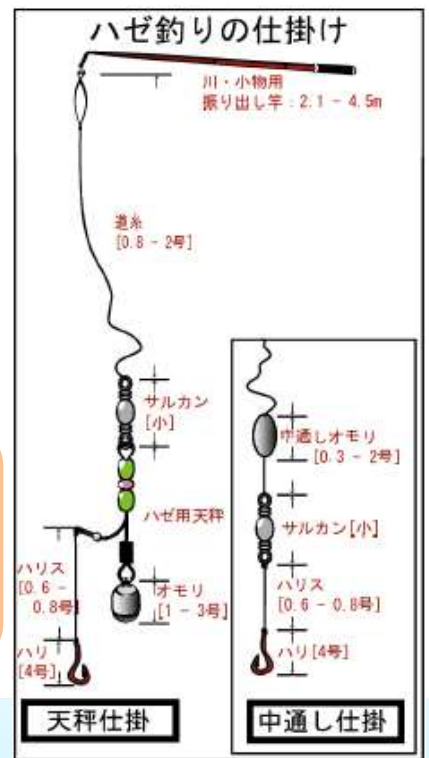
頭が大きく、上唇のほうはやや長い
ウロハゼは逆
おびれに矢羽(やばね)模様
お腹側は白色で、やや光っている

ハゼの仲間の中では、スマートな体形、砂地を好み、雑食

調査対象は、マハゼです。夏場は護岸前の「かけ上がり」の砂地にいることが多いと言われています。マハゼを目的とした釣りでも、チチブやウキゴリ、ビリンゴ、ウロハゼなどが釣れることがあります。

餌は、ゴカイやエビなどを針にちょんがけします。しかけは、「天びん」や「中通し」が一般的です。

エサの付け方	大きいゴカイ	小さいゴカイ	食いの悪い時	食いの良い時
	切って調整			1cm程度



ハゼの仲間たち

チチブの特徴



ウロハゼの特徴



連絡先：江戸前ハゼ復活プロジェクト「マハゼのすみ処調査」事務局

横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 古川恵太 E-mail: keitaf@ynu.ac.jp

東京水産振興会 振興部 TEL 03-3533-8111 E-mail: tkyfish@blue.ocn.ne.jp

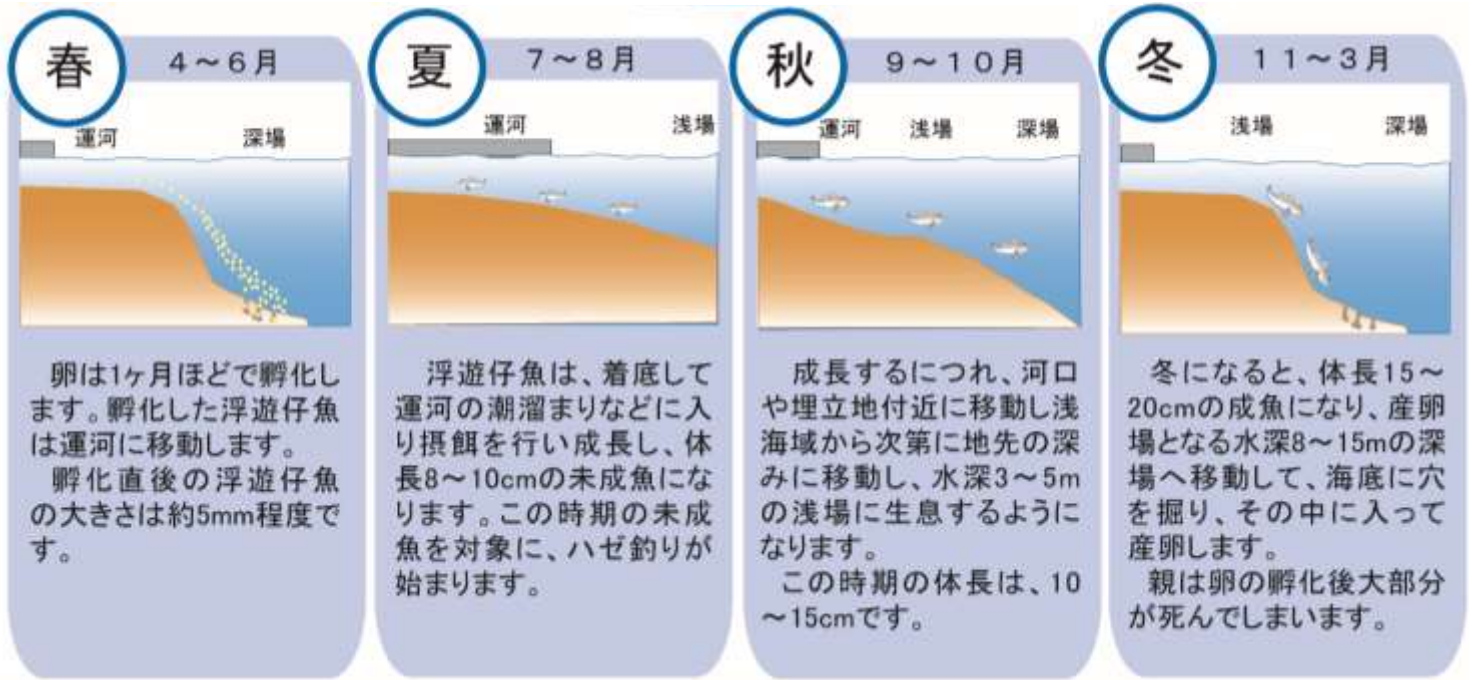
国土技術政策総合研究所沿岸海洋・防災研究部海洋環境研究室

<http://www.ysk.nilim.go.jp/kakubu/engan/kaiyou/intro-ra.html>

東京湾環境一斉調査については、東京湾再生推進会議のWebページをご覧ください。

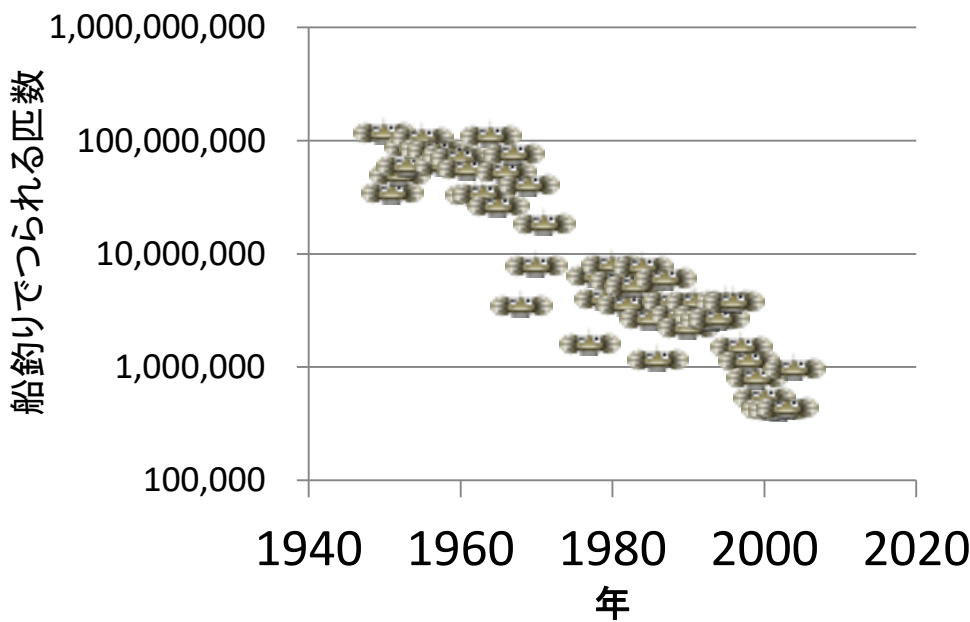
http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/

マハゼの1年(生活史:せいかつし)



国土技術政策総合研究所 (2008)

船つりで見えるマハゼの数(釣果:ちょうか)



東京海洋大学の工藤孝史先生が1950年から2005年までの一日一人当たりの平均釣獲尾数と東京湾におけるハゼの船釣り客数の経年変化を調査しました。その価を掛け算して、1年に釣られるマハゼの数を推計しました。

工藤先生の調べでは、1960年までは平均釣獲尾数が100尾を割る年は少なく、いわゆる「ハゼの束そく釣り」が実現されていて、この頃には年間約50万人がハゼの船釣りをしていました。船釣り客数は減少傾向にあり、2000年代からは一万人を割り込むまでに至っています。

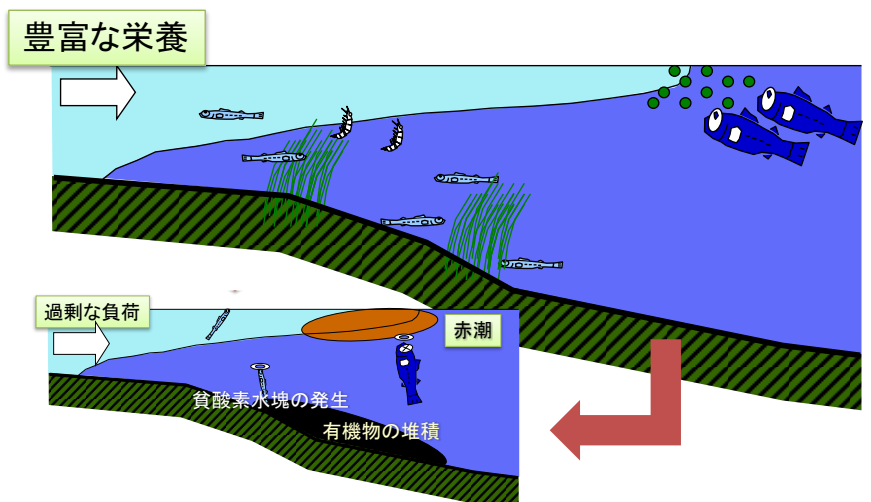
図・データとも工藤貴史(2010)より

汽水域(きすいいき)の環境(かんきょう)

河川水と海水が混ざる領域を汽水域と呼びます。河川水からの栄養の供給、海底の泥からの栄養塩の溶出などにより、赤潮や、貧酸素水塊が発生します。

汽水域は、海草が生えたり、干潟になったりして、小さな生き物の良い棲み処になります。

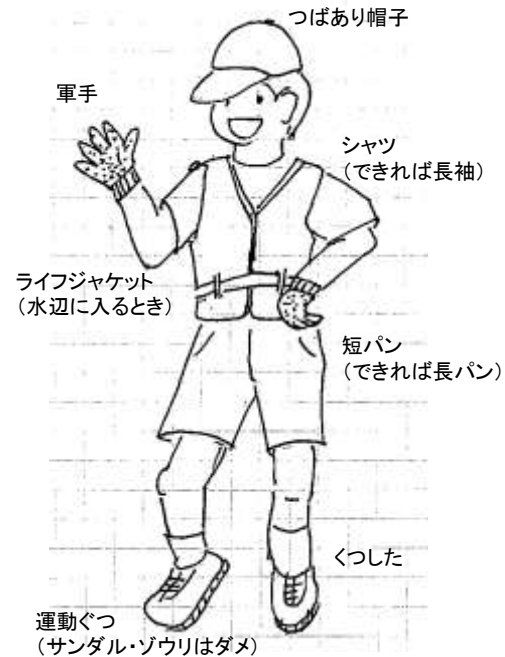
マハゼも、稚魚のときからこうした汽水域の浅場に多く生息します。こうした環境を保全することが東京湾を再生していく鍵になっています。



マハゼ釣り調査の手順

① 釣りに行く準備をする

- 調査は7-12月、東京湾(河川部も可)で実施してください。
- 帽子などの日よけ対策を万全に!
- 手や汗を拭くのに(ぬれ)タオルがあると便利だよ。
- 釣った魚を持ち帰るのであれば、氷やクーラーボックスも必要です。
- **大人の人といっしょに行きましょう。**



② 釣り場に到着したら、周囲の安全を確認する

- 釣り・立ち入り禁止の場所ではないですか?
- 水辺に寄るときは、足元の状態をしっかり確認しよう。
- 他の人の迷惑にならないよう気をつけましょう。

③ 調査票に場所と釣り開始時間を記入する

- 釣りを開始した時間と終わった時間を記入してください
- 場所は、図の□に✓、近くの橋や公園の名前、川、運河、港の名前などでもオッケーです。

④ 仕掛け・エサを準備し、釣りを開始する。

- 天候の急変に気を付けましょう(雷が鳴ったら、すぐ水辺を離れ、建物のある場所まで避難してください)。
- できれば、ラジオなどで天気や地震などの情報を把握し、何かあったらすぐ水辺を離れましょう。

⑤ 釣れた魚の全長を記録する

- 1cmずつ大きさ毎に数えてください。
- 食べるハゼ以外は逃がしてあげてください。
- 気の付いたこと等もメモしてください。

⑦ 釣り場の後片付けをする

- ゴミや残った餌を置いて行かないようにしましょう。

⑧ 記入漏れがないか確認し、調査票を送付する

- 記入された調査票をFAXにてお送りください。
- お一人様何通ご報告いただいても結構です。
- ありがとうございました。結果はWebでお知らせします。
- <http://www.meic.jp/mahaze> をご覧ください。

FAX送信先: 03-3533-8116

③ 名前を書いて送信!
 上欄: 9月30日、下欄: 12月30日までにご送付ください。

マハゼ様み処調査票

氏名: _____ 性別: _____

〒 _____ 都道府県 _____

ご住所: _____ 市区 _____

E-mail: _____

① 釣りをした場所を記録!
 東京湾(有明北・有明南) 隅田川
 東京湾(荒川運河) 荒川
 多摩川中流 江戸川放水路
 多摩川河口 三芳川 花見川
 川崎港(南側) 蒲安(後川) 千鳥港
 磯部川中流 荒老川
 見沼川 市原
 船橋港・種子川 豊州干潟
 宇治川 木更津港
 横須賀市(新島) 富津港
 横須賀市(新島) 釣り場を○

② マハゼスケールで、釣れた魚の大きさをチェック!
 横: 4 cm以下 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 cm以上
 縦: マハゼスケール (cm) 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

③ 名前を書いて送信!
 どのくらい釣りましたか?
 定数の枠内を○するが、具体に書いてください
 区・市 川・河口・海
 メモ: 気の付いたことがあれば、お知らせください

マハゼ棲み処調査票

東京水産振興会内
江戸前ハゼ復活プロジェクト事務局行

(東京水産振興会振興部
TEL 03-3533-8111
FAX 03-3533-8116
Mail tkyfish@blue.ocn.ne.jp)

フリガナ		
お名前	姓	名
フリガナ		
ご住所	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	都道府県
		市区郡
E-mail		

① 釣りをした日と場所を記録!

東京港(お台場・有明北・若洲) 運河(小名木・横十間)
 東京港(豊洲・朝潮運河) 隅田川
 京浜運河 荒川
 多摩川中流 江戸川放水路
 多摩川河口 三番瀬 花見川
 川崎港(扇島) 浦安・境川 千葉港
 鶴見川中流 養老川
 鶴見川河口 市原
 横浜港・帷子川 盤州干潟
 平潟湾・野島 木更津港
 横須賀市(田浦) 富津市
 横須賀市(浦賀・平作川)

釣り場を☒

いつ釣りをしましたか?
年 月 日 : ~ :

どこで釣りをしましたか?
左の図の場所に✓するか、具体的に書いてください。
_____区・市_____川・河口・海岸

メモ: 気の付いたことがあれば、お知らせください。
.....
.....
.....
.....

② マハゼスケールで、釣れた魚の大きさをチェック!

例: 4.5~5.5 cm の魚を 5 cm とします。

